

支 払 方 法

ア 使用時間報告書により使用機材及び作業員(各項目)の全作業日数における各々の合計使用時間を集計する。

イ 上記アで求めた各々の合計使用時間について、時間については、1時間当たりの単価を乗じて得た金額、分については、分を10で除し得られた整数に10分間当たりの単価を乗じて得た金額を合算し、各項目の支払金額を求める。

ウ 上記イで求めた各項目の支払金額を合算する。

エ 上記ウの金額に、消費税及び地方消費税の額として、当該金額の10%を加算した金額(円未満端数は切り捨て)を合計の支払金額とする。

支払金額計算書(例)

	項 目	合 計(使用時間報告書の合計)	1時間当たりの単価	10分間当たりの単価	時間		分	支払金額	
1	タイヤショベル（1.4～2.0㎡可変ブラウ）	3時間45分	A	B	3 × 単価A	+	4 × 単価B＝	①	
2	タイヤショベル（1.4～2.0㎡スノーバケット）	6時間4分	C	D	6 × 単価C	+	0 × 単価D＝	②	
3	小型ロータリー（18kw（25PS））	9時間24分	E	F	9 × 単価E	+	2 × 単価F＝	③	
4	バックホウ（1.00（0.70）m³）	5時間53分	G	H	5 × 単価G	+	5 × 単価H＝	④	
5	ダンプトラック（10t）（側版、防音装置と合算）	3時間20分	I	J	3 × 単価I	+	2 × 単価J＝	⑤	
6	普通トラック（4t）	6時間35分	K	L	6 × 単価K	+	3 × 単価L＝	⑥	
7	普通作業員	2時間00分	M	N	2 × 単価M	+	0 × 単価N＝	⑦	
小 計								①+②+③+④+⑤+⑥+⑦	(O)
消費税及び地方消費税額								(O)×0.1	端数切捨て(P)
合 計								(O)+(P)	